

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
4年	国語科	「一つの花」	4年1組42名	4年1組教室	小倉 英輔

1 単元について

単元マップ

見方・考え方が高まった姿

場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の気持ちの変化，情景などについて，叙述をもとに想像して読むことで，本を紹介することができる。

知識・技能「何がわかるようになるか・何ができるようになるか」

紹介カードを通して，単元の学習を見通すことができる。①	時間の変化や登場人物の気持ちの変化に着目し，場面を分けることができる。また，場面の様子をまとめることであらすじを作ることができる。②③	心に残った場面を選び，文章から根拠を見つけることで考えを明確にし，表現することができる。④⑤	作者の思いを考えることで作品全体像をつかみ，感想を持つことができる。⑥⑦	交流を通して，お互いの考えや感じ方に違いがあることやよりよい表現を知ることができる。⑧
-----------------------------	---	--	--------------------------------------	---

用語・語句

・学習計画	・場面分け ・登場人物 ・時間 ・場面	・根拠	・作者の思い	・共感 ・感じ方の違い
-------	------------------------------	-----	--------	----------------

単元を通した問題解決的な学習の過程



本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

○様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにすること。

【思考力・判断力・表現力等】

○登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。

【学びに向かう・人間性等】

○言葉がもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

単元・題材について

C 読むこと

(3) 目的に応じ，内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに，幅広く読書しようとする態度を育てる。

この物語は，ゆみ子に対する両親の思いが，「一つだけ」というキーワードを軸に表現され，出来事が展開する。本単元では物語を読む中で，時代設定，人物同士の関係，キーワード等をとらえ，着目した観点に沿って伝えることを整理し，作品を紹介する言語活動につなげていく。これは，同じテーマの本を選んで読み，読書の範囲を広げたり，それぞれが選んだ本を紹介し合っ感想や意見を交流し合う言語活動に生かしたりすることができる。さらに，「一つの花」に象徴される，子を思う親の心情という物を多少なりとも想像させたいと願うものである。戦争中と「十年後」の戦争後の場面の移り変わりをとらえるのはもちろん，父母のゆみ子に対する思いを叙述にそくして読むことにも取り組みたい。

児童の実態

国語科の学習については，物語の設定や登場人物の変容を読むことに苦手意識を持っている子が多い（教研式NRT「文学的な文章を読むこと」において，全国平均が40.1％、本校児童38.1％）。

4年生になって，「白い帽子」において，場面の様子や行動から登場人物の性格や気持ちを想像して，人柄について話し合う学習ができた。また，自分が感じたことの根拠を文章から探し，話し合う学習をした。多くの児童が物語を楽しんで読める一方で，場面の様子を想像して疑問や感想をどう表現してよいか悩む子もいた。そこで，友達との交流を通して，感じ方の違いに気付くとともに，よりよい表現方法を取り入れて紹介文を作り上げることで，自信をもって表現する楽しさを感じさせたい。

単元の目標

場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の気持ちの変化，情景などについて，叙述をもとに想像して読み，紹介することができる。

単元の指導について

「つかむ・見通す」段階では、物語の紹介文を作る目的をもたせ、そのためには、あらすじをつかむこと、心に残った場面を見つけること、自分の考えが必要だと気付かせ、課題に沿って読んでいく活動への意欲を高めさせる。

「追究する」段階では、物語のあらすじについて、登場人物の気持ちの変化に着目し場面分けをし、要約して作っていく。また、心に残った場面については、会話、気持ちや性格を表す表現、行動から登場人物の気持ちを読み取り、自分がどう感じたかを表す。更に、感想に作者の思いを読み取り自分の考えと比べて書くことで紹介文を書くことができるようにさせる。

「まとめる・広げる」段階では、自分で選んだ物語を紹介文を使って交流する中で、お互いのよさを認め合い、幅広く読書をし、伝え合おうとする態度を養う。

単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】	【読む能力】	【言語についての知識・理解・技能】
①紹介カードを見て、本を読んで感じたことをみんなに紹介しようとしている。 ②自分の紹介したい本の心に残ったことを進んで友達に紹介しようとしている。	①場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読んでいる。 ②会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考えている。 ③戦時中の時代や暮らしの様子を叙述をもとに想像して読み、作者の伝えたいことについて考えている。	①様子を表す言葉について考え、言葉を置き換えると印象が変わることに気付いている。

子どもの深い学びの姿

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりを結び付けて具体的に想像するとともに、自分の感じたことを友達と共有しようとする子ども。

2 単元の指導計画

【8時間扱い 本時6 / 8時間】

次	時	○おもな学習活動 ・具体的内容 まとめ	教師の評価規準（評価方法） ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
つかむ・見通す	①	<p>○単元の課題設定をし、学習計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の作った紹介カードを見て単元の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本を読んで感じたことをみんなに紹介しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本に紹介するためにあらすじ、心に残った場面、自分の考えが必要であることを知り、観点を整理する。 ・平行読書に使用する本を選ぶ。 ・『一つの花』の範読を聞く。 ・初感想を書く。 	<p>【関心・意欲・態度①】 紹介カードを見て、本を読んで感じたことをみんなに紹介しようとしている。（発言・ノート）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>思考を活性化させるアクティブ化ポイント① 子どもたちの生活の中で本に触れる機会を考え、本の世界を広げるような具体的な学習課題を立てる。</p> </div> <p>◇紹介カードに書かれている事柄を一つ一つ確認する。</p>
	②	<p>○物語のあらすじを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちの変化に着目しながら場面を分け、あらすじをつかむ。 ・場面の様子を要約し、全体のあらすじを作る。 ・紹介カードにあらすじを書き込む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>時、場所に注目して場面を分けてから、登場人物に心情を場面ごとに考えることであらすじがつかれる。</p> </div>	<p>【読むこと①】 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読んでいる。（発言・紹介カード）</p> <p>◇場面の移り変わりの手がかりとなる時や場所、登場人物の会話に着目させる。</p>
追究する	③	<p>○選んだ作品のあらすじを考える。【平行読書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、あらすじの作り方を復習する ・場面の变化、登場人物の気持ちの変化をとらえて分けることができる。 ・紹介カードにあらすじを書き込む。 	<p>【読むこと①】 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読んでいる。（紹介カード）</p> <p>◇場面の移り変わりの手がかりとなる時や場所、登場人物の会話、時間の経過に着目させる。</p>
	④	<p>○心に残った場面を探し、理由をつけて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った場面を探し、自分がどう思ったかを説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>心に残った場面について、文章から理由を見つけて伝えるとわかりやすい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介カードに心に残った場面とその理由を書き込む。 	<p>【読むこと②】 会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考えている。（発言・紹介カード）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>思考を活性化させるアクティブ化ポイント② 自分が感じたことを認め合える場を設定する。</p> </div> <p>◇人物の会話や行動から、場面の様子を確認する。</p>

	<p>⑤ ○自分が選んだ本から心に残った場面を探す。 【平行読書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った場面を探し、理由を説明する。 ・紹介カードに心に残った場面とその理由を書き込む。 	<p>【読むこと②】 会話や心情表現、行動に着目し、人物の気持ちを考えている。 (紹介カード)</p> <p>◇人物の会話や行動から、場面の様子を確認する。</p>
本時	<p>⑥ ○物語の感想を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が伝えたいことについて考える。 ・どの描写からそう思ったのか文章を根拠に説明する。 ・その描写から自分がどう思ったかを考える。 ・グループで考えたことを話し合う。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 作者の伝えたいことを考えと、物語を深く読むことができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介カードに感想を書く。 	<p>【読むこと③】 戦時中の時代や暮らしの様子を叙述をもとに想像して読み、作者の伝えたいことについて考えている。 (発言・紹介カード)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>思考を活性化させるアクティフ化ポイント③ 平和について全体で確認し、一人一人がどう思ったのか伝え合う。</p> </div> <p>◇登場人物のせりふや行動に着目させる。</p>
まとめる・広げる	<p>⑦ ○物語の感想を考える。【平行読書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が伝えたいことについて考える。 ・どの描写からそう思ったのか文章を根拠に説明する ・その描写から自分がどう思ったかを考える。 ・同じ本を選んだグループで考えたことを話し合う。 ・紹介カードに考えを書く。 	<p>【読むこと③】 戦時中の時代や暮らしの様子を叙述をもとに想像して読み、作者の伝えたいことについて考えている。 (紹介カード)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>思考を活性化させるアクティフ化ポイント④ 他の学年に紹介することを想起させ、相手意識を持って取り組む。</p> </div> <p>◇登場人物のせりふや行動に着目させる。</p>
	<p>⑧ ○グループで紹介し合い、よかったところや勧めたい本を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介を聞いてよかったところや自分の考えと違うところを伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことで、物語を深く読むことができるね。 </div>	<p>【関心・意欲・態度②】 自分の紹介したい本の心に残ったことを進んで友達に紹介しようとしている。</p>

パフォーマンス・シート 「一つの花」

名前 _____

学習問題「本を読んで感じたことをみんなにしようかいしよう」

	②③	④⑤	⑥⑦	⑧
学習内容	あらすじを作れるようになろう。	心に残った場面を探そう。	物語の感想を考えよう。	お勧めしたい本を伝え合おう。
レベル4	自分が感じたことを加えたあらすじを紹介カードに書く。	登場人物が自分だったらどう思うかを考えて、心に残った場面を紹介カードに書く。	友達の考えを聞いて、平和について自分の考えとの違いや同じ所をどう思うか感想に加えて紹介カードに書く。	物語の紹介文を聞いて、よりよい伝え方を、理由を付けて教えてあげることができる。
レベル3	読む人が興味を持つ工夫を考えたあらすじを紹介カードに書く。	心に残った場面を、友達の考えとの同じところや違う所を見付け、自分の考えをはっきりさせて紹介カードに書く。	平和について自分の考えを入れた感想を紹介カードに書く。	友達の紹介文を聞いて、工夫された伝え方を見つけることができる。
レベル2	場面を分けて、場面の中心となる文章を要約し、あらすじを紹介カードに書く。	心に残った場面を理由をはっきりさせて紹介カードに書く。	作者の思いや伝えたいことを考え、物語の感想を紹介カードに書く。	友達の紹介文を聞いて、感じ方の違いや同じところを見つけて感想を伝えることができる。
レベル1	場面を分けてあらすじを紹介カードに書く。	心に残った場面を抜き出し、紹介カードに書く。	物語の自分の感想を紹介カードに書く。	物語の紹介文を聞いて、よかったところを伝えることができる。
記述				

3 本時の学習

(1) 目標

戦時中の時代や暮らしの様子を叙述をもとに想像して読み、作者の伝えたいことについて考えている。

(2) 展開【8時間扱い6／8時間目】*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	児童の活動	思考	□教師の働きかけ ◆教師の評価(評価方法) *思考を活性化させるアクティブ化ポイント
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の課題を確認する。	全体	□前時まで取り組んできたことを想起させ、本時の学習の見通しを立てさせる。
	作者の伝えたいことを考え、物語の感想に生かそう。		
展開 30分	3 パフォーマンス・シートで、自己課題を設定する。		
	4 戦争について叙述を基に考える。 ・満足に食べられない ・はなればなれになる ・悲しい、悲さん、辛い	全体	□どの叙述からそのように考えたのか、根拠をもって話し合わせる。 *知識だけではなく、叙述を基にして戦争について考えることで、自分の考えを確かにする。
	5 作者の伝えたいことについて考え、まとめる。	ペア	□友達と交流して、自分の考えとの共通点や相違点に気付いたり、友達の考えの良さに気付いたりさせる。 *友達との交流をすることで、自分の考えを広げたり深めたりする。
	6 作者の伝えたいことをふまえて、自分の感想を考え、紹介カードに書く。	個人	□作者の思いについて自分はどのように考えるかを感想に入れさせる。 ◆作者の伝えたいことを読み取り、自分の感想に生かしている。 (紹介カード、発表)
終末 10分	7 学びを振り返る。	全体	
	作者の伝えたいことを考えると、物語を深く読むことができるね。		
	8 パフォーマンス・シートに学びの振り返りを記述する。 9 次時の予告をする。		

(3) 評価

◇評価規準の具体 (評価方法～発表・紹介カード)

【読むこと】

十分に満足できる (A) : 戦時中の時代や暮らしの様子を叙述をもとに想像して読み、作者の作品へ込めた思いと自分の戦争や平和への思いを結び付けながら、考えている。

おおむね満足できる (B) : 戦時中の時代や暮らしの様子を叙述をもとに想像して読み、作者の作品へ込めた思いについて考えている。

努力を要する児童への指導 : 登場人物のせりふや行動に着目させる。

(4) 板書計画

平和へのねがい	戦争をくり返してはいけない 平和な世の中であってほしい	(さう) いやだ 悲しい	戦争 ・死 ・食へ物がな はなればなれ	一つの花 作者の伝えたいことを考え、物語の感想に生かそう。
---------	--------------------------------	--------------	------------------------------	----------------------------------

(5) 本時に使用する資料や学習シート

紹介カード 名前 ()

--	--

○心に残った場面

_____ _____ _____ _____ _____

○あらすじ

_____ _____ _____ _____ _____

○感想・思ったこと

_____ _____ _____ _____ _____
